



ひとりひとりの小さなお金。

そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。

赤い羽根は、小さなことをしています。

小さな活動をたくさん、何十年と続けています。

つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



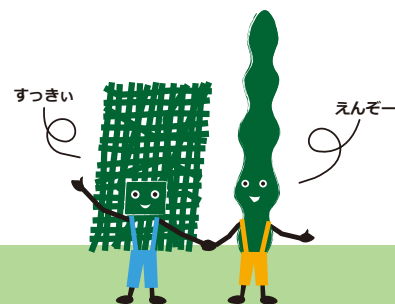
10月1日から全国一斉

赤い羽根共同募金



が始まりました

今年度も、「じぶんの町を良くするしくみ。」をキャッチフレーズに赤い羽根共同募金運動が始まります。この運動で集められた募金は、この地域の地域福祉事業等に使われます。主な事業として、ボランティア協力校である村内小中学校への助成、移送サービス事業活動費、福祉だより発行等の財源となります。強制ではございませんが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



もくじ……

- 令和3年度事業報告・決算 …………… P2～3
- 令和4年度事業計画・予算 …………… P4～5
- 表彰者報告・
ホームページリニューアル…………… P6
- あんしんねっとのご案内…………… P7
- お知らせ・ご案内 …………… P8

編集・発行



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 普代村社会福祉協議会

〒028-8335 下閉伊郡普代村第13地割字普代169番地1
(自然休養村管理センター内)

TEL 0194-35-2100 / FAX 0194-35-3664

E-mail fudai-s@titan.ocn.ne.jp

※この広報誌は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

令和3年度 事業報告・決算

村社会福祉協議会が令和3年度に実施した事業の報告と決算がまとまり、6月16日に開催されました定時評議員会で承認されました。主な事業と併せて報告します。

■主な事業報告

1 地域福祉の推進体制づくりにおける取り組み

安心して自立した生活を送れるよう、適切な在宅サービスや福祉活動を更に充実させることを目指した。

生活支援サービスの実施

○生活支援サービスの実施

雪かき課題世帯 14 世帯訪問

○配食サービス事業（週1回）

利用実績 178 件（利用登録会員 5 名）

配達ボランティア登録会員 2 名

○移送サービス事業

利用実績 135 件（新規登録 6 名）

利用登録会員 35 名

運転ボランティア登録会員 6 名

介助ボランティア登録会員 1 名

○サロン活動

10 会場 75 名参加（各地区単独・老人クラブ）

○当事者団体事務協力

村老人クラブ連合会、村身体障害者福祉協会、
村母子寡婦福祉協会、村手をつなぐ親の会

○生活福祉資金貸付事業

申請件数 15 件 決定件数 15 件

（内訳 コロナ特例緊急小口資金 7 件、
コロナ特例総合支援資金 8 件）

総貸付数 65 件（未完了者）

償還残額 5,866,787 円（据置期間後分のみ）

○村たすけあい資金貸付事業

申請件数 0 件

総貸付数 2 件

償還残額 47,000 円

2 住民意識の醸成と啓発における取り組み

福祉意識の現状や課題を把握し、様々な手段を用いて情報の提供等を行い、福祉に対する地域住民の理解と参加を進めた

○生活支援コーディネーター設置受託事業

戸別訪問 58 件、見守り活動 107 件、サロン活動 20 件、関係形成 66 回（地域ケア会議等）、周知活動 10 回、地域支援活動 37 回、依頼訪問活動 40 件、認知症地域支援推進員活動 66 件、研修 10 回

○久慈地区広域社協連絡協議会の一員として、管内市町村首長に対して、社協基盤強化の要望をするなど広域社協相互の協調と連携を図り、積極的に事業展開を図った

○ボランティア協力校助成事業

・普代小学校（第11次指定）

・普代中学校（第8次指定）

各校 100,000 円の助成

3 住民参加・参画による地域福祉活動の促進における取り組み

住民参加による地域福祉を高めるための活動を推進するため、各種講座の開催や関係機関とのネットワークの構築を図った

○サロン団体への活動助成

4 地区（助成額 80,000 円）

○ボランティアセンター機能の強化

災害ボランティア養成講座 3 回参加

4 支援活動の推進における取り組み

生活上の困りごとを助け合い、支える地域社会を築くため、様々な社会資源を活用した支え合いの仕組みづくりをすすめた

○心配ごと相談所の設置 相談件数 44 件

○人権なんでも相談会へ参加

（人権擁護委員協議会共催）

○日常生活自立支援事業 利用者 1 名

5 社会福祉協議会の機能強化における取り組み

地域住民や関係団体等から信頼され、責任ある法人として適切な事業運営を図るため、職員の資質向上と経営基盤を強化

○評議員会 4 回開催

○理事会 9 回開催

○監査会 4 回開催

○評議員選任・解任委員会 2 回開催

○赤い羽根共同募金運動

実績額 600,367 円（達成率 99.4%）

○歳末たすけあい運動

実績額 735,918 円（達成率 128.43%）

配分額 270,000 円（54 世帯）

6 令和3年度歳末たすけあいチャリティ演芸会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 指定管理者による施設管理・運営

1) 普代村自然休養村管理センターの管理・運営

利用者実績 1,998 名

2) 普代村社会体育館の管理・運営

利用者実績 6,528 名

自衛消防訓練：2 回実施（火災）

法人全体決算書

資金収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
(単位：円)

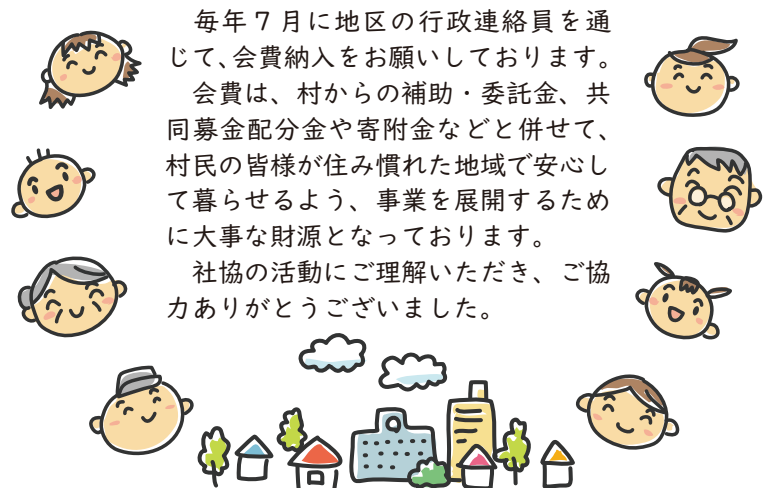
勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	1,116,000
	寄附金収入	5,720
	経常経費補助金収入	16,114,130
	受託金収入	13,761,108
	貸付金収入	110,000
	事業収入	736,535
	受取利息配当金収入	470
	その他の収入	48,694
	事業活動収入計(1)	31,892,657
	支出	
	人件費支出	19,117,535
	事業費支出	2,037,753
	事務費支出	9,150,665
	貸付事業支出	0
	分担金支出	113,400
	助成金支出	571,600
	事業活動支出計(2)	30,990,953
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	901,704
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等寄附金収入	0
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出	0
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
	その他の活動による収入	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	0
	基金積立資産支出	138
	積立資産支出	1,474,637
	その他の活動支出計(8)	1,474,775
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,474,775
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		△573,071
前期末支払資金残高(11)		7,871,718
当期末支払資金残高(10)+(11)		7,298,647

貸借対照表

令和4年3月31日現在
(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	8,149,231	流動負債	1,410,243
預貯金	7,810,731	事業未払金	362,532
未収金	338,500	その他の未払金	365,409
仮払金	0	職員預り金	122,643
		賞与引当金	559,659
固定資産	14,785,338	固定負債	3,071,274
基本財産	1,000,000	退職給付引当金	3,071,274
基本財産特定預金	1,000,000	負債の部合計	4,481,517
その他の固定資産	13,785,338	純資産の部	
車輛運搬具	387,511	基本金	1,000,000
器具及び備品	1	第一号基本金	1,000,000
長期貸付金	47,000	基金	6,901,416
退職給付引当金	3,071,274	はまゆり基金	6,901,416
備品等購入積立資産	3,378,136	その他の積立金	3,378,136
はまゆり基金特定預金	6,901,416	備品等購入積立金	3,378,136
		次期繰越活動増減差額	7,173,500
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	△235,864 18,453,052
		純資産の部合計	22,934,569
資産の部合計	22,934,569	負債及び純資産の部合計	22,934,569

社協会費にご協力ありがとうございました



令和4年度 事業計画・当初予算

令和4年度の事業計画と予算が、3月27日に開催された第4回評議員会で承認されました。

■重点項目

- ①地域福祉の推進体制づくり ②住民意識の醸成と啓発 ③住民参加・参画による地域福祉活動の推進
- ④支援活動の推進 ⑤社会福祉協議会の機能強化

■基本項目

1 地域福祉の推進体制づくりにおける取り組み

- 1) 高齢者支援の取り組み
生活支援サービスの実施
移送サービス事業の実施
配食サービス事業の実施
会食会の実施
当事者団体事務協力の実施
- 2) 障がい者支援の推進
移送サービス事業の実施
配食サービス事業の実施
サロン活動へのお誘い
当事者団体事務協力の実施
- 3) 児童健全育成・子育て支援の推進
子ども食堂の開設
- 4) その他の分野における支援の推進
包括支援センター・民生児童委員協議会等との連携

2 住民意識の醸成と啓発における取り組み

- 1) 調査活動の推進
生活環境点検活動の実施
- 2) 情報提供・啓発（広報）活動の推進
機関誌の発行
ホームページの活用
地区別福祉座談会の実施
講演会・フォーラムへの参加
- 3) 福祉学習（教育）の推進
村内小・中学校への助成の実施
ボランティア体験教室の実施
福祉講演会の開催
- 4) ニーズキャッチシステムの推進
地域ケア会議への参加
関係者連絡会・ケース連絡会の開催
生活支援コーディネーター設置受託

3 住民参加・参画による地域福祉活動の促進における取り組み

- 1) 小地域福祉活動の推進
サロン活動における講座、連絡会の開催
ふれあいいきいきサロンの普及
サロングループへの活動助成
- 2) ボランティアセンターの機能強化
ボランティア連絡協議会の結成支援
ボランティア活動の相談、登録斡旋機能の充実
- 3) 地域生活支援ネットワークづくりの推進
各種講座の開催
- 4) 当事者の組織化・支援活動の推進
当事者組織化と助成活動の推進

4 支援活動の推進における取り組み

- 1) 相談体制の整備と機能の強化
心配ごと相談所の設置
各種専門相談所・相談員招請、相談員研修会の開催
- 2) マネジメント機能の強化
総合的な管理・経営の取り組み
- 3) 権利擁護事業の推進
ケース会議の開催
- 4) 苦情解決・リスクマネジメント体制の整備と機能の強化
意見箱の設置
第三者委員の設置とその機能の活用
- 5) 福祉サービス第三者評価事業の推進
第三者評価事業の活用
- 6) 地域ケアネットワーク体制の整備
連携体制の強化
各相談窓口との連携強化
情報の共有化と連携
生活支援ボランティア組織の立ち上げ

5 社会福祉協議会の機能強化における取り組み

- 1) 住民組織としての推進体制・運営基盤の強化
広報紙・ホームページの活用
行政、包括支援センター、民生児童委員協議会、福祉活動を行う者等との連携・協同活動の実施
評議員会の開催
理事会の開催
監査会の開催
- 2) 財政基盤の整備
会員全戸加入促進
各種民間資金（助成）の活用
共同募金委員会の運営
資金の活用状況の報告
- 3) 専門性を高めるための人材育成
事務局組織体制の充実
職員研修計画の策定
- 4) 情報開示の推進
開示用資料の作成・準備
- 5) 地域福祉活動計画の推進
計画5年間の中間年に見直しの実施

6 第18回村歳末たすけあいチャリティー演芸会の開催

- 1) 関係機関との連携の強化

7 第11回普代村社会福祉大会の開催

8 指定管理者による施設管理・運営

- 1) 普代村自然休養村管理センターの管理・運営
- 2) 普代村社会体育館の管理・運営

社会福祉事業資金収支予算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
(単位:円)

勘定科目			予算額
事業活動による収支	収入	会費収入	1,180,000
		寄付金収入	55,000
		経常経費補助金収入	16,814,000
		受託金収入	7,074,000
		貸付金収入	900,000
		事業収入	620,000
		受取利息配分金収入	2,000
		その他の収入	51,000
		事業活動収入計（1）	26,696,000
	支出	人件費支出	18,710,000
		事業費支出	1,710,000
		事務費支出	4,530,000
		貸付事業支出	1,000,000
		分担金支出	139,000
助成金支出		804,000	
事業活動支出計（2）	26,893,000		
事業活動資金収支差額 （3）＝（1）－（2）		△ 197,000	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄付金収入	1,000
		施設整備等収入計（4）	1,000
	支出	固定資産取得支出及び繰入金支出	1,000
		施設整備等支出計（5）	1,000
	施設整備等資金収支差額 （6）＝（4）－（5）		0
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金収入	200,000
		その他の活動による収入	1,000
		その他の活動収入計（7）	201,000
	支出	基金積立資産支出	50,000
		積立資産支出	1,150,000
		サービス区分間繰入金支出	200,000
		その他の活動支出計（8）	1,400,000
	財務活動資金収支差額 （9）＝（7）－（8）		△ 1,199,000
予備費支出（10）		1,100,000	
当期資金収支差額合計 （11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）		△ 2,496,000	
前期末支払資金残高（12）		6,149,000	
当期末支払資金残高（11）＋（12）		3,653,000	

公益事業資金収支予算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
(単位:円)

勘定科目			予算額
事業活動による収支	収入	受託金収入	6,251,000
		事業収入	207,000
		受取利息配分金収入	1,000
		その他の収入	29,000
		事業活動収入計(1)	6,488,000
	支出	人件費支出	1,394,000
		事務費支出	5,664,000
		事業活動支出計(2)	7,058,000
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 570,000	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
	支出	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		0
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0
	支出	その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		0
予備費支出(10)			200,000
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			△ 770,000
前期末支払資金残高(12)			770,000
当期末支払資金残高(11) + (12)			0



令和4年6月21日定時評議員会のようす

受賞おめでとうございます

第75回岩手県社会福祉大会

令和4年10月28日に、岩手県民会館で第75回岩手県社会福祉大会が開催され、社会福祉事業の推進に功績があった方々への表彰が行われました。受賞者は下記のとおりです。(敬省略)

○社会福祉事業功労者

[多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に功績が顕著な方]

下橋場 岩 男 (福) 普代村社会福祉協議会 理事
熊 谷 孝 之 (福) 普代村社会福祉協議会 監事

○永年勤続功労者

[多年にわたり、社会福祉事業に従事した方]

三 船 裕美子 (福) 普代福社会 介護士



被表彰者に表彰状を送る長山大会長

第54回手をつなぐ育成会岩手県大会

令和4年10月16日に、グリーンピア三陸みやこで第54回手をつなぐ育成会岩手県大会・本人大会が開催され、社会福祉事業の推進に功績があった方々への表彰が行われました。受賞者は下記のとおりです。(敬省略)

○一般社団法人岩手県手をつなぐ育成会会長表彰

畑 中 恵 子 普代村手をつなぐ親の会 監事



表彰の様子

第53回岩手県老人クラブ大会

令和4年10月25日に、北上さくらホールで岩手県老人クラブ大会が開催され、老人クラブの育成功労に功績があった方々へ表彰が行われました。受賞者は下記のとおりです。(敬省略)

○老人クラブ育成指導功労者

金 子 誠 一 旭日区松寿会 会長



参加者(左から)金子理事、小屋敷理事、下谷地理事

普代村社協のホームページがリニューアル！

情報をより分かりやすくお伝えするため、デザインと構成を見直し、スマートフォンやタブレットでも快適にご利用いただけるよう、普代村社協のホームページを全面リニューアルしました。

今後も、これまで以上に内容をアップデートしていきますので、ぜひご意見をお聞かせください。

↓こちらからアクセスできます↓



<https://www.fudai-shakyo.com/>

あんしんねっと

にちじょうせいかつじ りつ し えん じぎょう
「日常生活自立支援事業」
のごあんない

あんしんねっと「日常生活自立支援事業」とは、認知症や知的・精神障がいなどにより、自分の判断能力に不安がある方や、福祉サービスの利用の仕方が分からなかったり、預貯金の出し入れなどにお困りの方を対象としています。

みなさまが安心して地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用手続き、公共料金などの支払い手続きなどをお手伝いいたします。

◆どんなサービスが受けられるの？

- さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談
- 福祉サービスの利用における申し込み、契約手続きの代行、代理など
- 福祉サービスの利用料の支払い手続き
- 預貯金の出し入れなどの手続き
- 日常的な金銭管理サービス
- 書類などの預かりサービス など



◆サービスの利用手続きはどうすればいいの？

① 相談

まず、お近くの社会福祉協議会へご連絡ください。
ご本人以外でも、ご家族や身近な方、民生委員などを
通じてのお問い合わせにも対応いたします。



② 訪問

専門的な知識を持った専門員がご自宅等を訪問し、親身になって
ご相談に応じます。プライバシーに配慮し、秘密は必ず守ります。

③ 支援計画作成・契約

お困りのこととご希望をお聞きし、専門員が支援計画を立てます。
契約内容・支援計画を承諾いただければ、社会福祉協議会と契約
します。



④ 支援開始

ご契約のあと、支援計画に基づいて生活支援員がサービスを
ご提供します。

◆サービスの利用に費用はかかりますか？

- ご相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。
- 福祉サービス利用援助、金銭管理などのサービスを利用する
際は有料です。

・・・1回1時間あたりおおむね1,300円です。

※生活保護を受けている方は無料です。



お知らせ・ご案内

社会福祉法人 普代村社会福祉協議会 TEL 35-2100
(普代村自然休養村管理センター内) FAX 35-3664

12月1日から歳末たすけあい運動が始まります



本年も、12月1日から20日まで歳末たすけあい運動を実施します。募金されたお金は、新たな年を迎える時期に地域で安心して暮らすことができるよう、村内の在宅の寝たきりや一人暮らしの高齢者、在宅心身障がい児者等の支援を必要とする方々へ届けられます。ご協力よろしく願っています。

災害義援金募集のお願い

被災された方々を支援するため、下記のとおり義援金の募集を行っていただきます。受け入れた災害義援金は、岩手県共同募金会を通じて被災者に届けられます。

募集期間：令和4年12月28日(水)まで

- 令和4年7月15日からの大雨にかかる災害義援金 (宮城県)
- 令和4年8月3日からの大雨にかかる災害義援金 (山形県・新潟県・石川県・福井県・青森県)
- 令和4年台風第15号災害静岡県義援金

災害義援金の受付場所

普代村共同募金委員会 事務局 (普代村自然休養村管理センター内)

歳末たすけあいチャリティー演芸会中止のお知らせ

歳末たすけあい運動の一環として、12月に開催を予定しておりました歳末たすけあいチャリティー演芸会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、今年度も開催を中止とさせていただきます。楽しみにされていた方々には、誠に申し訳ございません。ご理解の程よろしく願っています。

移送サービス運転・介助ボランティア募集中



ボランティアのみなさんにご協力いただきたきながら、移送サービス事業を行っています。
現在、ボランティアの減少や利用者の増加により、運転・介助ボランティアを随時募集しておりますので、地域の支え合いにご協力ください。

運転ボランティアの条件

- ・運転歴が10年以上の方
- ・直近3年間に、人身事故又は重大な物損事故を起こしていない方 など



赤い羽根自動販売機 を設置しました!



普代村社会体育館の正面玄関左脇に、赤い羽根自動販売機を設置しました。
この自動販売機の飲み物を購入すると、その売上の一部が飲料メーカー等から赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機のことです。寄付金は、設置されている地域の福祉活動や災害時のボランティア活動等に役立てられます。